

# 『ぱんだより』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。  
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第28号(2009年4月9日)「お隣、韓国の現況」

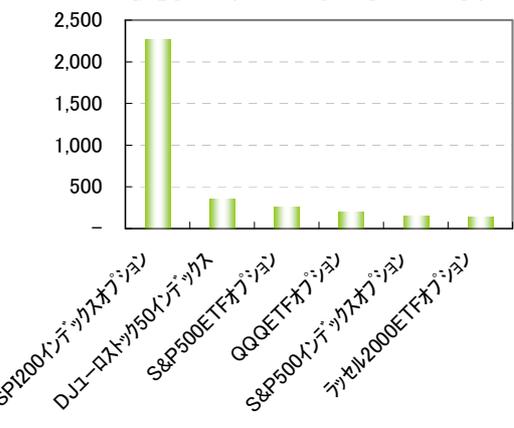


## 韓国の活発なマーケット

IT先進国として名高い韓国では、ネット取引を通じた株式の先物・オプション市場の取引が盛んです。特に、インデックス・オプション市場では、韓国のKOSPI200インデックス・オプションの取引量は第2位のDJユーロストック50インデックス・オプションを大きく引き離して世界第1位を誇っています。このオプションの取引量が原動力となって、韓国のKRX(韓国証券先物取引所)は世界の先物・オプションの取引量ではシカゴマーカンタイルグループに次ぐ世界2位の市場となっています。

この取引量の約3分の1を占めるのが個人投資家です。2009年2月末までの1年間で個人投資家のオプションの取引は全体の約36%を占め、属性別では堂々の1位となっています。オプションは買いから入れれば損失が限定できる上、流動性があるということから、個人にとって手がけやすい投資手段なのかもしれません。

世界のオプション市場における取引量 (2008年1月～10月)



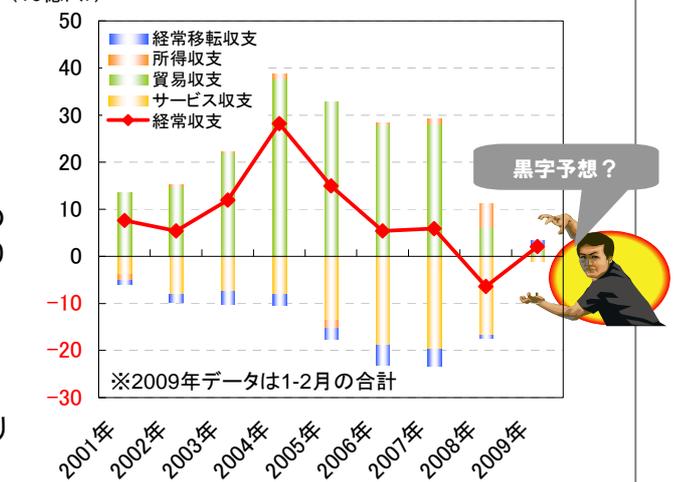
(出所: Futures Industry Association 2009年2月末現在)

## 経常収支、黒字予想

韓国経済は、GDPの約7割を占めるほど輸出への依存度が高く、世界的な金融危機によって当面は厳しい状況が続くと見られています。ただし、韓国はアジア諸国の中では珍しく財政黒字の国でもあります。政府はそれを活かして2008年10～12月期に累計3.5兆ウォン(約2,500億円)の景気対策を発表したのに続き、3月にはGDPの3%程度にあたる29兆9,000ウォン(約2兆円)の追加景気対策を打ち出しています。このため内需は、7-9月期頃から回復するとの見方もあります。

さらに原油の依存度が高いため、原油価格の下落もプラス材料となり、2008年の経常収支は赤字となりましたが、2009年には黒字に転換すると見られています。

韓国の経常収支



(出所: Bloomberg 2009年3月現在)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



## 「3月危機説」に春風

ところで、韓国では、3月に外債の償還が重なることから、外国人投資家が資金を引き上げることにより、金融危機が起こるのではないかという「3月危機説」が心配されていました。しかし、韓国の金融監督院の発表によると、債券市場で2兆1,270億ウォンの買い越し、株式市場でも1兆1,074億ウォンの買い越しとなり、3月の債券と株式を合わせた純買い越し額は3兆2,344億ウォンに達したことが明らかになりました。

政府の公式コメントの中にも「今年に入り一部の指標を中心に景気の流れが小幅改善している様相」と記事にされるほど、韓国内では強気の見方も増えつつあり、株式市場も2008年10月の水準から38.5%と上昇しています。

かの有名な投資家の天才ウォーレン・バフェット氏は、『2008年の5月に世界の指数に投資するとしたら、韓国は収益率の上位に入り、他の地域よりも高い。米国の銀行に投資するよりも韓国株に投資するほうがいい。』と述べています。韓国の主要な銘柄を指して、通貨危機に襲われた時期と比較すると、当時の株価は非常に割安だったとしています。韓国企業は、財務が堅実で収益力が高く、また才能ある経営者によって経営されていると指摘しています。このコメントが発表された2008年5月のKOSPIの株価は約1800ポイントと今の水準よりも高値にも関わらず非常に有望視していたのです。

直近の株式市場は、米国景気の底入れ期待からエレクトロニクスを中心に輸出関連産業が見直されつつありますが、今後、景気対策の効果が顕在化し始めれば、内需関連の評価が高まる可能性があります。加えて韓国市場の資金流入も落ち着きを見せ始めたこともあり、今後さらにウォン安が進む可能性は限定的とも考えられます。

(編集後記)カリスマ美容家のIKKOさんの本では、美容を中心に韓国を案内しています。そこで推奨された化粧品の売上は大変好調とのこと。円高を楽しむ日本人にとって頼れるガイドブックとなり、「日本人観光客の後ろにはIKKOがいる」と言っても過言ではないようです。週末の韓国旅行狙い目です。

韓国総合指数 (KOSPI) の推移



(出所: ブルームバーグ 2009年4月6日現在)

(見に行っちゃイナ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。